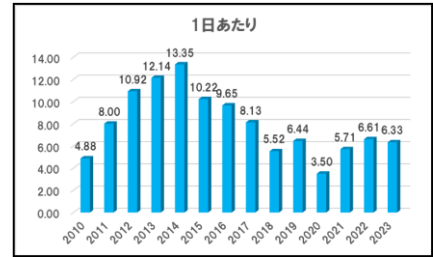
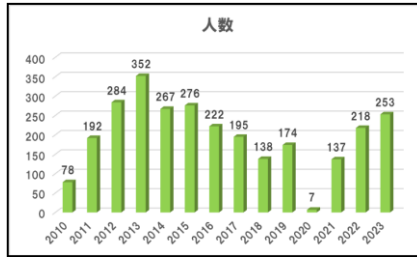
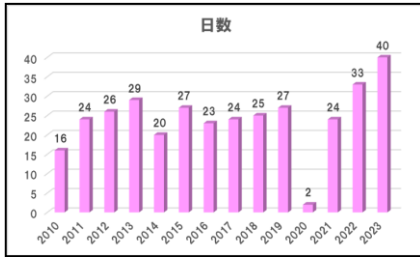






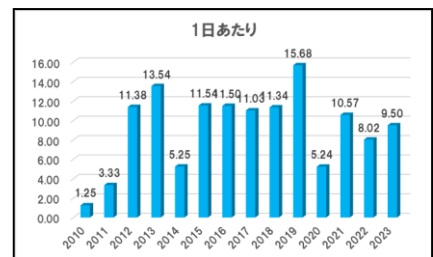
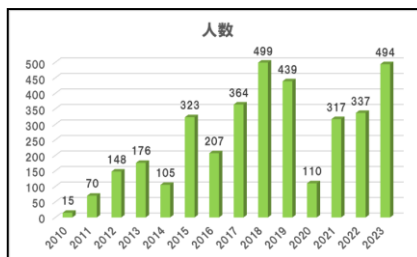
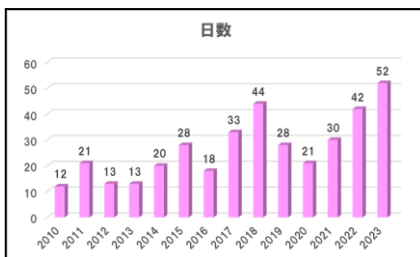
## ○ 活動別統計・各論

### ① 水辺の監視・救助活動事業



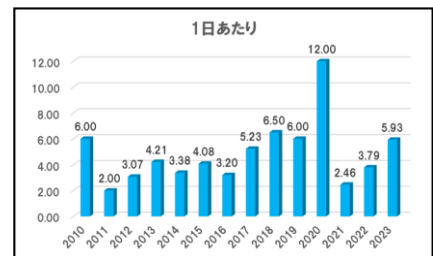
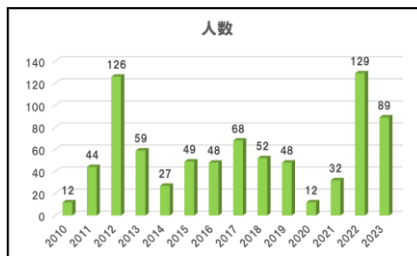
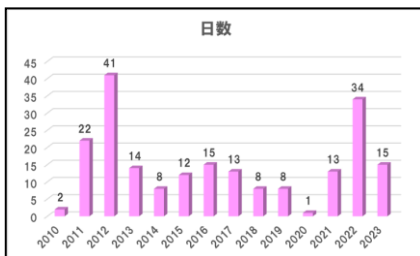
本年度は世界水泳や SAGA 国スポブレ大会などもあり、活動日数や参加人数が増加しています。当法人の活動根幹となる海水浴場パトロールに加えて、大会ガード等が増えることは経験値や収入増のため、好意的に捉えています。

### ② 教育事業



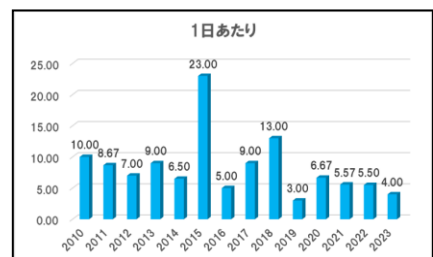
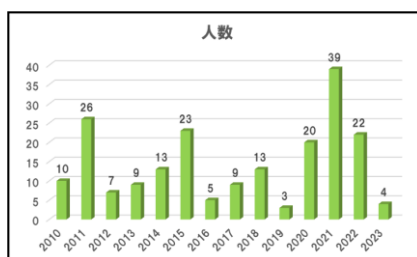
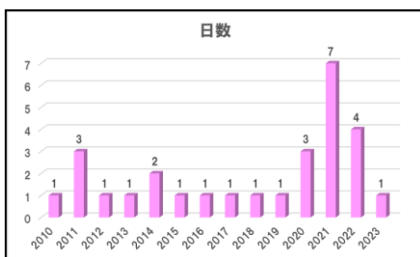
多様な講習会種別の開催により、活動日数や参加人数が増加しています。2021 年度から JLA アカデミーへの他クラブ協力者を加算しないこととしたため、2021 年度以降は目減りしています。

### ③ ライフセービング競技事業



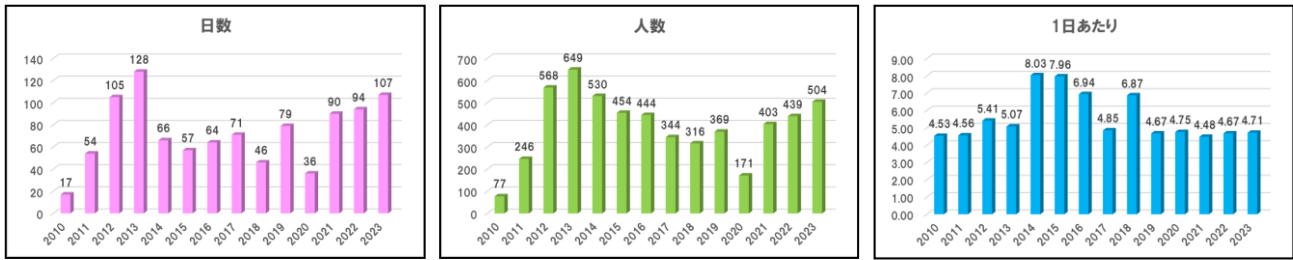
2012 年度は菅選手、2022～2023 年度は石田選手の HPT 選出による影響で大きく突出しています。今後も継続して HPT 選手となれる競技者の育成が必要です。

### ④ 環境保全活動事業



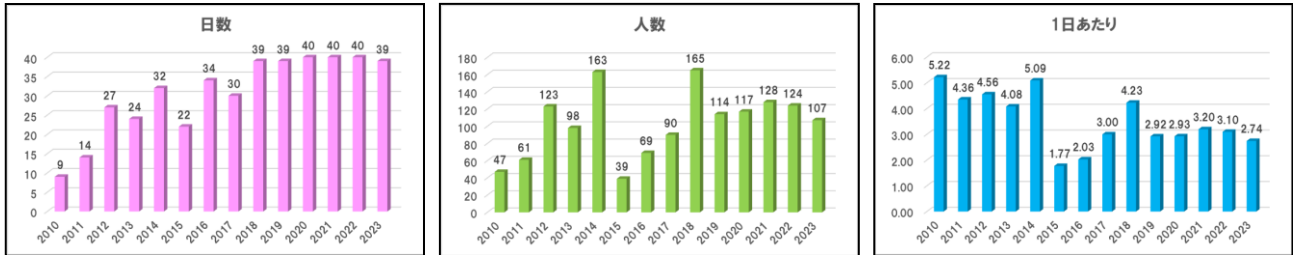
環境保全活動へも力を入れていきたいと考えています。

## ⑤ 目的を達成するために必要な事業



概ね横ばいです。更なる飛躍を目指したいと考えています。

## ⑥ 運営・管理



頭打ちのようにも見えますが、運営としては良い頻度で継続して運営できていると考えています。

## ○ 総論

2023年度は順調に活動を上げることができました。新宮 LSC メンバーがあまり増大していない中で、この成長を遂げることができたことはとても光栄なことではありますが、一方で、各メンバーの個人的負担が増大しているとも言えます。

今後はメンバー増員や教育事業などへもより一層の力を注いでいく必要があり、無理なく、継続発展的な組織運営を目指していく必要があります。

今後も更なる組織化を図り、より発展を目指していく所存です。社会にとって有益であるこの活動を今後も維持継続していくために、より強固な組織体制を目指して、更に多くの社会貢献ができるよう成長し続けていきたいと考えています。